

ご関係各位

## JMPA カラー2018 への切り替えと運用に関して(再掲)

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

JMPA カラー管理委員会

2018年11月

平素より、雑誌広告デジタル送稿推進協議会(日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会で構成)の諸活動にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、4月25日にリリース後、9月3日より運用を開始しました「JMPA カラー2018」ですが、7月に当協議会ホームページ(「雑誌デジ送ナビ」) <https://www.3djma.jp/>にてご案内した通り、旧バージョン(ver3.01)と新バージョンとの併用期間を終え、2019年1月より、新バージョンのみの運用となります。あらためて、併用期間の終了と2019年1月からの新バージョン運用について、ご案内をさせていただきます。

何卒、主旨を理解のうえ、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

### 記

9月3日送稿分から12月末送稿分までの、切り替え期間の4か月間は、新旧2種類の色基準原稿が混在するため、取り違い防止策として、以下のように対応してきました。

#### 【旧バージョン(ver3.01)で制作した原稿を入稿する場合】

- 製版・制作会社が ・オンライン送稿：Quick Print で備考欄に「ver3.01 制作」と入力する
- ・オフライン送稿：JMPA カラー準拠 PDF 仕様書の備考欄に「ver3.01 制作」と記入する

#### 【新バージョン(2018)で制作した原稿を入稿する場合】

- 製版・制作会社が ・オンライン送稿：Quick Print で備考欄に「2018 制作」と入力する
- ・オフライン送稿：JMPA カラー2018 準拠 PDF 仕様書の検証アプリケーション欄にあるチェックボックスをチェックする

#### 2019年1月以降については

##### 【新バージョン(2018)で制作した原稿のみ入稿】になりますので

製版・制作会社が

- ・オンライン送稿に関しては、Quick Print で備考欄には、各バージョン制作を記入しない
- ・オフライン送稿に関しては JMPA カラー2018 準拠 PDF 仕様書を使用すること

運用切り替え期間終了をもって、JMPA カラー2018 に完全移行となります。

※なお、12月末送稿の切り替えタイミングに関しては、各出版社担当者へお問い合わせ下さい。

以上